

令和5年度第2回「安全・安心な食のまち・さっぽろ推進会議」会議結果(概要版)

【日 時】 令和6年2月7日(水) 13時30分～15時30分

【場 所】 WEST19(中央区大通西19丁目)2階 大会議室

【議 事】

1 議 題

- (1) 会長及び副会長の選出について
- (2) 令和6年度札幌市食品衛生監視指導計画(案)について
- (3) 第3次安全・安心な食のまち・さっぽろ推進計画の方向性について
- (4) その他

2 質疑応答の内容(○委員、●事務局)

- (1) 会長及び副会長の選出について

特になし

- (2) 令和6年度札幌市食品衛生監視指導計画(案)について

①	<p>○資料1 p9に収去検査計画の表について、令和5年度の計画では、より詳細な情報が掲載されていたが、今回はそこまで中身を詰めないまま、パブリックコメントに進むのか。また、ポストコロナ時代となったが、令和5年度の計画に比べ検体数が減っているのはなぜか教えてほしい。</p> <p>●収去検査の詳細な内容については、検討案を取りまとめているが、監視指導計画案上の表については、他都市の計画を参考に表現を見直した。検体数の減少については、食品衛生法改正によるHACCPの義務化により、事業者の自主管理を主体とする衛生管理に移行しつつある状況を踏まえ、見直しを図っている。(事務局)</p>
②	<p>○前回のパブリックコメントでは、意見の提出者が2名であった。多くの意見を寄せてもらうためのどういった努力をしているか教えてほしい。</p> <p>●保健所だけでなく、各区役所や保健センターでも案を配付しているほか、紙ベースだけでなくSNSなど、若者も含めて目に触れるよう、いろいろな形での発信も実施している。(事務局)</p>
③	<p>○これまで「さっぽろ HACCP」を掲げている店舗を見たことがなく、「さっぽろ HACCP」のPRが足りないと感じる。資料では、「さっぽろ HACCP」の認証数の推移等が掲載されていないため、現在の状況を教えてほしい。</p> <p>●「さっぽろ HACCP」の認証施設は、現在360件ほどである。「さっぽろ HACCP」については、国のHACCP義務化より前から存在する制度であり、札幌市内で自主的にHACCPを実施している施設を認証し、HACCPの精神進めていこうとする目的があった。その後、時代の変遷により、国の法律でHACCPが義務化され、「さっぽろ HACCP」に関わらず、すべての施設がHACCPに取り組んでいくこととなった流れがある。今後、こういった流れも勘案して、「さっぽろ HACCP」のあり方については、検討してまいりたい。(事務局)</p>
④	<p>○監視指導という役割からすると、継続的、安定的に実施することになるので、毎年同じようなものにならざるを得ないかもしれないが、令和5年度と令和6年度の違いがあまり感じられない。毎年同じ書式とすると、去年とど</p>

	<p>う違うのかと、市民の心になかなか伝わりにくい部分があると思う。今年はどうことというような重みづけをする形で1年の計画を立てたほうが、見る側にとっても伝わりやすくなるかなという印象を持った。</p> <p>●重点監視項目として、近々でいろいろと問題になっていることを厚くするということは意識している。例えば、今年度は高校総体という大きなイベントが札幌市内で開催されたため、重点項目に大規模イベントの監視指導を入れていたが、来年度はそのようなイベントが予定されていないため、重点事項から一般的な事項に移すなど、軽重をつけている。今後はその表現も工夫していきたい。(事務局)</p>
⑤	<p>○収去検査について、今後は事業者の自主管理が主体となっていくことであるが、新型コロナウイルスの影響で様々なことが変化したこのタイミングで、行政から事業者へと変化してくことが適切であるのか教えてほしい。</p> <p>●食品衛生法の改正により、行政による監視から事業者の自主管理へシフトしているという流れは間違いない。一方で、自主管理と言いつつも、行政が第三者的に検査をすることで市民の安全・安心が担保されるという側面もある。今回、検体数は減らしているが、今までの検査で違反にならないような食品や検査項目を中心にスリム化した動きであり、急激に事業者の自主管理にかじを切り行政の検査は手を引くということではない。また、限られた財源の中で効率的な検査をする必要があるという課題もあるため、昨今の違反状況も鑑みて、今回の検体数で計画した次第である。(事務局)</p>
⑥	<p>○収去検査に限らず、ほかの項目も説明が多少なりともあると理解はしやすいと考える。</p> <p>●貴重なご意見として資料に反映していきたいと思う。(事務局)</p>
⑦	<p>○資料1 p7のHACCPに沿った衛生管理の実施状況の確認及び導入指導について、HACCPに沿った衛生管理は、事業規模に関わらず実施が必要であるが、計画書の作成や運用結果の記録・保管は、まだ事業者に浸透していないと考える。札幌市の中で飲食店等をどう巡回指導していくのかを教えてほしい。</p> <p>●既存施設の場合、更新検査が定期的であり、その際にHACCPについても実施しているのか確認・指導するとともに、既に実施している場合は、改善点が無いか等の指導・助言を行う。新規施設については、事前相談時や許可検査等で周知をしていく。(事務局)</p>
⑧	<p>○HACCPのスペルを見て「ハサップ」と読めない市民もいるのではないかと感じる。</p> <p>●周知のためにも振り仮名をつけたいと思う。(事務局)</p>
⑨	<p>○札幌は、インバウンド、外国人観光客の方がすごく増えている。また、外国人の労働力にどんどん頼らなければいけなくなっている社会情勢もある。これらを踏まえると、食文化、習慣、マナーも含めて異なる人たちに対して食の安全といったものをどう伝えていくのかなどに注目することは一つの重要な視点かと感じる。</p> <p>●札幌には食と観光という形でたくさんの旅行者等が来るという動きがあるので、そういったニーズ、時流を捉えながら、食の安全・安心の確保について、引き続き考えていきたい。(事務局)</p>

(3) 第3次安全・安心な食のまち・さっぽろ推進計画の方向性について

①	<p>○アレルギー等ピクトグラムの件について、現在、札幌は雪まつりで、外国観光客も多いと見受けられるが、例えば、その方たちがレストラン等に入っ て、このピクトグラムが表示されていた場合、外国人がそば等に見えるのか どうか不明である。全部で28事例あるため、例えば、そばの後ろにローマ 字表記などしてはどうか。</p> <p>●ピクトグラムは、文字を使わずとも絵で印象づけてもらうものではある が、確かに、そば等の欧米の方々になじみのないものは、一目で分からない ところはあると考える。外国人観光客がインバウンドでたくさん札幌に來ら れる中で、アレルギーによる不幸な事故を起こさないために、ピクトグラム にこだわらない形であっても、何かしらの分かりやすさや言葉の表記・併記 をすることは大事な視点ではあるため、いただいた意見も参考に検討させ ていただきたい。(事務局)</p>
---	---

(4) その他

特になし